医薬品の効き方って知ってる？

*おくすりナビ　2016年　７月号*

口からのんだ医薬品が、どうして効くのか知っていますか？

≪医薬品の効く仕組み≫

**で吸収**

**される**

**目的の場所で医薬品が効く**

**医薬品を**

**のむ**

**で溶ける**

**血液に乗って**

**全身へ運ばれ**

**る**

**ここで大切なのが・・・**

医薬品の効き目**は、このときの**　**「**血液にけている医薬品の量**」**

で決まるのです！

****

≪血液に溶けている医薬品の量の変化≫

朝に1回のみ、昼にのみ忘れて、

夜に2回分のんだ場合

決められた量より多くのむと

危険なことがあります

●１日３回のむ医薬品の場合

高い

危険な範囲

**「効果が現われる」**

に入るように医薬品は

設計されています！

効果が

現われる範囲

血液に溶けている薬の量

ちゃんと朝昼夕1日3回飲んだ場合

効果が

現われない範囲

**朝のむ**

**昼のむ**

**夕のむ**

時間

少なすぎて効果がありません

血液に溶けている医薬品の量は、時間とともに減っていきます。医薬品の量が減って効かなくなってくる頃に、次の医薬品をのむ時間になります。医薬品が体にちょうどよく効くようにするには、**血液に溶けている医薬品の量をちょうどよい量に保つ（青線）**必要があり、そのためにどの時間にどれくらいの量をのむのかが決められているのです。だから、

**「効かないからもう一錠」（赤線）**や、**「のみ忘れたから2回分」（緑線）**、

**「痛みが軽いから半分だけ」（黄線）**といったのみ方は間違いです！

医薬品は・を必ず守って、正しく使いましょう！

作成・発行元